

# セ ル リ の 裁 培

(五)

大 岩 金

## 播種床の土壤消毒

消毒といふ字は少し當らぬかも知れませんがまあ極く廣い意味の消毒といふ位にお考へ願ひます。

播種床で最も厄介なのは雑草の發芽でありますから床の土壤中には雑草の種子を無い様にせねばなりません。それには土壤中から雑草の種子を撲出するといふ事は到底考へられない事でありますから小規模の栽培に於さましては蒸籠或はその様なもの及普通御飯を煮る釜、竈で蒸氣立たせる様に出来れば好しいのでありますが、大規模の場合

は其の目的の爲に造られた特別の釜で蒸すのであります。

土壤を蒸す程度は大體蒸籠内の土壤の最上部に中位の大きさの馬鈴薯を入れておきまして是がころ／＼蒸せたといふ位で好しい事になつて居ります。併し此の操作は一回より二回或は三回と回數を増す程完全が期される譯であります。即ち菌類の胞子の殺菌とか、種々の病原菌の消毒とか、害蟲の成蟲或は卵の撲滅等の目的にもなるので、單に雑草の種子のみを目的とするのでないからであります。

## 露地麻

はセルリ栽培として最も普通に行はれる方法であらまして、種子を何の覆物もない所謂露地の床に播下するのであります。その方法は、土質、氣候等に依りまして異なりますが、原則としましては秋季に耕しまして好く腐熟した堆肥（一エーカーに對し一五トンの割、但しこの場合の堆肥は雑草の種子に對する除去方法は講ぜざるもの）と骨粉（一エーカーに一トン）とを施用しまして春季作業が出来る様にならまして表土を短冊形の床に造るのであります。床の幅は六一一七フィート位にし床と床との間は動ける丈の餘地をあいて床面より四一一六インチ位低く通路を造ります。此の道は又排水の用をも兼ねますし、種々の作業に便する事は無論であります。

前記の床を造る時に基肥としまして木灰（一エ

ーカーに對して一〇〇〇ボンド）と硫酸アンモニヤを少し施します。肥料は床面より四インチ位の深さで作用する様に施用するのであります。

施肥が終りましたならば床面を平に均しまして其の日の中か、遅くも次の日位には播種せねばなりません。播種後は覆土して床面を平にする事は無論であります、若し條播にする様な場合はレキ等をもつて溝を造りまして播種します。覆土した後はローラー又は板片等で軽く鎮壓しておくのであります。

場合に依りまして撒播した後を攪拌しておく事があります（大規模の場合）が土地が乾燥する地方では此の方法は不利であります。

鎮壓は土壤の毛細管現象を盛にし種子に水分を充分給しますが攪拌しますと毛細管現象を斷ちますからであります。併し又種子を發芽させて播種する様な場合がありますが此の時は撒播しまして

灌水するか、降雨を待つて覆土の用をさせる事が

あります。此の場合は熟練を要するものであります。

けれども發育は大變早い譯であります。播

種後は土地の状況に依つて覆物をせねばならぬものでありますが此の場合は極く軽いものを用ひます。

### 露地床の取扱の注意

灌水せねばなりません。原則としまして床の表面が乾き始めた傾向を見ました時行はねばなりません。床は宜く乾きすぎるものでありますが過湿せん。床は降雨の爲に根際の土壤を取り去られて倒れる様な事がありますから、此の際にも前記の綿布様の覆物を必要とする時があります。

セルリの生育に最も注意を要する時期であります。併し前記の温床利用の場合の如き困難はありませんが過湿は種々の病菌の繁殖を催し苗を病弱

ならしめますから氣をつけねばなりません。

### 苗床の保護

苗床には寒風が當る事は忌むべき事でありますから北方には風除を造つておきます。尙場合に依りましては東及西にも南に次第に低くした風除を造る事もあります。次に種子が發芽致しましたならば木綿布様のもので日除をしてやる事があります。是は強烈な日光の場合特に必要であります。

又苗床が軽い土壤であつた様な時は發芽したての苗は降雨の爲に根際の土壤を取り去られて倒れる様な事がありますから、此の際にも前記の綿布様の覆物を必要とする時があります。

### 移植

若いセルリは移植するに最も有利の時代であります。併し前記の温床利用の場合の如き困難はありませんが過湿は種々の病菌の繁殖を催し苗を病弱

操作であります。細根のあるといふ事は生育を盛ならしめ得る優良な苗といふ事になるのであります。

移植する時は直根を切取りますので細根が多く生ずるのであります。細根が多く生じますと本烟に植ゑ出すに適する譯でありますから、苗は取扱が出来得る様になるや否や移植を行ふのであります。即ち本葉が三枚も出れば始めの移植が行はれます。

此の移植の効能に就きましては一度必ず實地試験を行ひになる事を希望致します。即ち移植しないものと如何に其の根の張り方に相違があるかが判然するでありませう。難難汝を玉にすといふ教訓が當つてゐるかどうかは知りませんが、セルリとしては移植は一時相當の難難をしませう。併し移植するには相當の手間を要します。米國では百

本に就て一ドルといふ大金を見てあくさうであります。

ますから營利的大規模の栽培には場合に依つては不適當であります。が御家庭等でお作りになる時は必要な事であります。

### 移植の代り

移植と同様の効果を得て勞賃を安くしてしませやうといふ様な事が大栽培地には講究されて居ります。即ち林業家等がよく行ひます断根法であります。即ちセルリの生えて居りますまで土中へ刀物を通じて根を切るといふ仕掛けなのであります。深さは大體二インチ位であらまして、行ふ時期は本烟に植ゑ出す一〇日——二週間位前に行つて主根から細根の發生を見る譯であります。此の方法を行つた後は灌水をして枯れるのを防がねばなりません。

### 播種の適期

望む時期に収穫する事の出来る時期で最も健康な生育がとげられる時に播種するのであります。

苗床には苗が床にある期間内は充分肥料分がなければなりませんが、徒長或は過繁茂といふ事は苗の生育をして休止せしめる事が起りますから採らないところであります。ではありますが寒地に於て屋内温室或は温床を利用して育苗した場合は最も此の點を考慮せねばなりません。

そこで先づ寒地におきますセルリの一般栽培を申しますと三月上旬の内に屋内に播下します、この期を遅れると不利の點がありますから特に注意を要します。そこで冷床或は畑等に移植します。時期は四月上旬でありますから本畑の場合は五月下旬迄に行ふのであります。この方法でゆきますと八月中旬頃の需要に應ぜられる譯な

であります。

次に最も普通に行はれます時期を申します。即

ち四月上旬に冷床或は温床に播下しまして早い地方で五月になりますと主植を始めます。それから六月中下旬頃には本畑に定植致します。この方法に依りますと十月月中旬が収穫期になります。

そこで各時代におきます日數を記述致しますと本畑の時期が約一〇〇日間、主植床にある時代が約三五日間、播種床時代が約三五日間、此の期間には發芽に要する期間も含んで居ります。結局約一七〇日がセルリを播種して収穫する迄に要する期日であります。でありますから私共は一七〇日を標準にして希望する時期に食べられる様に播種すればよい譯であります。若し利益を目的と致しますならば市場の状況に従つて搬出し得る様最高價の時節の究明を要する譯であります。